



## 「海津大崎」

滋賀銀行 常務取締役 今井 悦夫

春、花見の名所はたくさんありますが、私のおすすめの一つが「海津大崎」。

滋賀県高島市マキノ町に位置し、琵琶湖八景の一つ「<sup>ぎょうむ</sup>暁霧・海津大崎の岩礁」として知られる湖西の景勝地です。湖岸の岩礁、湖の碧、<sup>あお</sup>遠くに望む竹生島、そのコントラストの美しさに、多くの観光客が訪れます。

その桜並木は日本の「さくら名所100選」にも選ばれ、約800本のソメイヨシノが琵琶湖岸約4kmにわたり、桜のトンネルをつくります。例年、見頃は4月中旬となり、近畿圏では遅咲きの桜名所としても知られています。陸路、桜トンネルを満喫するのも楽しいのですが、湖面から船で眺めるのも風情があります。「花いかだ」と呼ばれる、散り初めの頃、桜風に乗って一面

※夢見草／桜の別名。桜の花の美しさにうっとり見惚れたようすからついた呼び名。夢のように美しくはかないことからとも。

に敷き詰められた花びらの水面を進みながらの鑑賞はまた格別です。

また、海津のまちから少し歩いたところにある、一本の巨桜「<sup>しょうず</sup>清水の桜」も見所でしょう。樹齢300年以上、高さ16メートル、幹の周囲6.4メートルという県内最大級の桜です。「見返りの桜」とも言われ、その昔、加賀藩主前田侯が上洛の折、その美しさに見とれ、何度も振り返り眺めたことから名付けられました。まさに「<sup>ゆめみぐさ</sup>夢見草」\*。当行では、今年のカレンダーの図柄にこの「清水の桜」を採用させていただきました。

湖国滋賀には多くの景勝地があります。その歴史や背景を知り、そこに暮らし、働く人との共存も含めて活性化していければ、と思うところです。

### 県内データ あれこれ

### 市町別空き家率 (別荘などの二次的住宅を除く)

## 空き家率は11.6%で過去最高 市町別では彦根市が最も高い

総務省が発表した「2013年住宅・土地統計調査」によると、滋賀県内の空き家（別荘などの二次的住宅を除く）は6万9,900戸で、総住宅戸数に占める割合（空き家率）は11.6%と過去最高となった。

過去最高水準となったものの、全国（12.8%）との比較では、1.2ポイント低く、空き家率の低さは全国8位で、近隣府県では最も低い。

市町別にみても、彦根市が18.5%と最も高く、日野町（15.8%）、愛荘町（15.6%）が続いた。彦根市では賃貸住宅の空き家が6,200戸と、賃貸住宅の空き家のウェイトが他の市町と比較して高いことが全体を押し上げる要因となっているようだ。

一方、空き家率の低さでは、栗東市、守山市がトップの8.1%で、草津市（8.5%）がこれに続き、人口増加を維持する3市が10%を切る水準となった。

昨年11月に制定された「空き家対策推進特別措置法」や2015年度の税制改正もあり、全国的に空き家の利活用の機運が高まっている。各自治体でも空き家対策としてさまざまな取り組みが行われて

おり、各種の施策が奏功し、空き家の利活用が地域活性化につながることを期待したい。

(株)しがぎん経済文化センター 吉川 友

